

1. 先輩

あー……先輩、先輩、先輩、先輩、私です、先輩、私です。

先輩、好き、好き、好き、先輩、ああ先輩、好きです、好き。

どうしたらこの想いを、想いを、想いをツ、私のこの、どころ、

ぐちゅぐちゅ、ぬるぬる、スーパーハイパーウルトラ大好きハートを、

先輩に伝えられるのでしょうか。私が先輩を、好きになるのは、もうこれは、

世の理とも言うべきこと。常識であり、秩序であり、当然必然歴然の事実。

ああ分かった分かった分かりましたハイハイハイ分かりましたよO&A。

先輩のママになればいい。私がね、先輩を、産めばいい（？）

私が先輩を孕めばそれは、つまり、つまり、先輩は私の子、私のバブウ。

なんてこと……こんな簡単なことに気がつかなかつた……この私が、私が？

どうした私、お腹が痛いのか？ 眠いのか？ ああ先輩、憧れの先輩に、

体調不良の状態でお話するなんて、無礼極まりない、クソの中のクソです。

でもでもでも溢れる気持ちは抑えられない。だつて恋する乙女だもん。

恋占いでお花畠を枯らしてしまおうようなお年頃なの。仕方ないじやない。

そうね、きっとそう、だから今すぐお話するの。がんばれ、しもべ優♪

よし、さっそく出産交渉をしなければ。フフフ。私、幸せ。

先輩を産めるなんて幸せ。幸福の極み。おてての皺と皺を、あわせてしあ……、

……先輩？ 何か？ どうしました？（？）

ちようどよかつた、今からですね、

先輩を産もうかと思つて、……へ、聴いてました？ 全部？ ……きやあツ、

ハズカシツ、ハズカシツ。なんという失態でしようツ。

そうだ、私つたら……先輩と一緒に書類整理をしてる真つ最中でした。

すみません、すみませんツ。上の空の青天井だつたもので、あはははは。

え、あ、もう終わりましたよ。先輩のお仕事のお手伝いなんてそんな、

二秒あれば済みます。そのうち一秒で終わらせてやりますよ。

それよりもです、私の独り言を聞いてくださいのならば話が早い。

先輩、先輩ツ！

産ませてください。

私に、あなたを、

産ませてくださいぜひぜひ。ゼツヒヒヒヒ……♪ はーツ、はーツ……♪

産ませて、産ませて、認知させてください。先輩は私の子です。いい子いい子。養育費なら任せください。お父様がきっと出してくださいますから。だから、

ほら、キテ。今から私の中に入つて、そのあと出します。反芻です反芻。

やつたことないけどつと出来ます。だつて先輩、世の中に100%はないんです。

私、先輩に関しては不可能はないって思います。私の技術で足りない分は、

財力でなんとかしますから、ご心配無用ですよ。ああもう我慢できない、

産ませて、産ませてえ、先輩にミルクあげなきや、あげなきや死んじやうの、

信じればミルクだつて出ます、

出るか出ないかなんて、やつてみないと分かんないでしよう？ ね？

……なんですか、なんなんですか、その冷ややかな視線は、私への試練ですか。めげませんよ、先輩に冷たくされようが無視されようが、

私の先輩は先輩なんですから、変わらないものですから、天地が震えても、

それは揺るぎませんから。先輩、先輩、先輩、先輩、先輩。

はーツ……はーツ……えへ、えへひひひ、やばいやばいやばいやばいやばい、近い、

先輩が近い、先輩の空気だ、すーうううう、はーあああああ、アアアアアアツ、

、オツ、お♪ ぎもぢいツ♪ 先輩の空気ぎもぢいツ♪ 死ぬツ♪

幸せで死ぬツ♪ ……ぐ、ふツ、……はあツ、はあツ、耐えろ、耐えるのよ私。

先輩に近づいただけでこれじや、この先思いやられるツ。

出産となればもう、きっと四回くらい輪廻転生してしまうツ……。

それでは先輩をお待たせしてしまうことになります。

……くそツ、くそツ、なんて不甲斐無いツ、

なんて情けないんだ、私はツ。待つてください先輩ツ、私ツ、私ツ、

もつと強くなりまつツ。先輩の放つ圧倒的な先輩風に負けませんツ。

そしてこれは己との闘いであります。

明日には先輩を産める身体になりますから。一日だけ待つていてくださいツ。

精神統一、瞑想ツ！ をツ、今から家に帰つてやりますのツ。

本日は失礼しますツ。ごきげんよう！

2.ああ先輩

あら生徒会長、いきげんよう。

ええ、書類整理は昨日のうちに終わらせましたわ。

担当であるはずの先輩があまりに鈍重な作業をしてらしたので、仕方なく。

ウフフ。まあまあ会長、先輩も先輩なりに頑張つてらっしゃいましたわ。

はい♪ あとは私にお任せしてくださいませ。

……あら？ 会長どちらへ？

ああ、海老名先生からお呼び出しですか……ふふ、心中お察しいたしますわ。

いつてらっしゃいます。『武運を……』

……ああああああアツ先輩ツ先輩先輩ツごめんなさいツああツ、

許して許して許してください私を許してツ、会長の前では私ツ、ああするしかツ

ああしないと私ツ、だつて、このしもべ優がツ、

先輩とのアハヌウフンがアーダコーダという噂が流れてしまつたら、先輩ツ、

私のファンクラブの皆さまから袋叩きに遭つてしまふんですからツ！

そうですファンクラブありますから私ツ、二万人くらいますからツ。

いけませんそんなこと、そんな、そんな、汚い手で先輩に触れようものなら私、

その不届き者を血祭りにあげてしまいますツ。

わが校は、厳の如く厳肅に、しかし麗しく秩序正しく、

一切の乱れもない風紀のもと成り立つ、さながら森林の清流。

そのような尊い勉学の場において、流血騒ぎなど……炎上してしまいます！

お父様にもご迷惑をかけてしまうツ。ダメツ、そんなのダメえツ。

ふーツ、ふーツ、すみません、興奮してしまつて。

こほん。……人前では、ああいう態度をとらざるを得ない以上……、

二人切りの時は、うんと甘えていただいてよろしいんですよ？

ちよろちよろ、ミルクの時間じやありまちえんか？

おっぱい、ほちいほちいじやありまちえんか？ ばあぶう♪

ほら先輩、私、こうして無難に、先輩に近づく術を手に入れました。

と言いつつも、実はさつきから軽く絶頂を繰り返してるのですけど、

表情に出てないので大丈夫です。問題いございません。

確認しますか？ 私の言葉に嘘偽りのない純水1000%であるいふ、

目視していただけませんか？ ほら、ほら、見てください。私のツ。

う、あツあ、み、見られて、いる、先輩がツ、私の、こんなはしたない、

スカートをたくし上げて下着を晒すさまをツ、今日は先輩のためにツ、

スケベでハレンチえつちつちなTバツクツ！ 情熱の赤いTバツクをツ、

履いてきたのですツ。見てツ、見てツ、湿つたところ見てツいや全部見てツ。

あツ先輩がツ先輩がツ！ イつちやつたおまんこ、

ぬるぬる愛液びっしょりおまんこをツ、見てているツ、見てているツ！

おほツ、ああ、デカいのが、やべー波がキちやうツ、キちやうツ、あツ、

イギツ、イギツ、先輩ツ見ててツイクとこ見ててツ、おツお、おツ♪

おホオお〜〜ツ！！

ああ、あ、いつて、しまつた、先輩の前で、絶頂を宣言したのち、

有言実行してしまつたのだ。私は、痴女だ。痴女です。はしたない、

ああ先輩、そんな、退かないでくださいまし。先輩のイヤらしい目で、

視線だけでイつてしまつた私を、もつと、見てくださいツ。私を、

なんだろうもう、視線で食べてください。余すところなく、見てください。

先輩のシャツターアイで、

しもべ優の痴態を脳内フォルダに永久保存してください。

ハツ。こんなことしてた場合じやなかつた。

先輩、産ませてくださいツ。今日こそ産ませていただきます。

私の新品おまんまんから、先輩をツお、おおツ……産むツ、あ、ツダメツ、

イグツ、まだイグツ、ああツ、いつぎツいツいツいツいツ！

ああ先輩、先輩、私、もう我慢できません。脱ぎます。生徒会室で脱ぎます。

後輩のドスケベストリップ堪能してください。ああ、気持ちい。

脱ぐ前から、なんでこんな気持ちいいの。そうだ、先輩が見てるから、いや、

先輩がいるからだ。先輩がいるだけで気持ちいいんだ。これが真実です。

真実はいつもひとつなんです。脱ぎますよ、いいですか、

おしつこ漏らしたらごめんなさい。うれションしちやいそうで耐えてるんです。

脱ぎます、脱ぐ、脱ぐ、まずは上からです。私今日、ノーブラなの。

先輩におっぱいちゅーちゅーしていただこうかと思って、

ブラジャーをつけてこなかつたのです。エロいですか、シコれますか？

ストリップ見ながらシコつてください。ほら、ほら、なんでシコらないの。

そのズボンから先輩の逞しき神おちんぽを取り出して、シコつてください。

オナニーをツ、ストリップ鑑賞オナニーを生徒会室で出来るんですよ。

それを先輩の、清き青春の一ページに刻んでいただきたい。脱ぎます！

ああツは……ボタンをひとつ外すだけで、

こんなに、こんなに気持ちいいだなんて。

先輩のその、何が言いたいやらよく分からぬ顔、最高です。かつこいい。

かつこいいよお、先輩素敵い、もつと見せてください、その表情、かんばせ。

先輩の先輩による先輩のための私。しもべ優のドスケベボディ、

とくと堪能してください。ほら、見て、見て。あはん、うふん。はあ、はあ。

先輩のために、先輩に悦んでもらうために私、悩殺ドスケベストリップ、

エブリディ練習してるんです。誰もいない教室、誰もいない生徒会室、

自室でも鏡の前で、こうして、こんな風に踊つて、ほおら、腰ツ見てツ、

前後運動すごいでしょ？ 先輩にパコパコパコされるの想像して、うツ、

あ、振つて、る、のツ♪ あツはツあ♪ はツ♪ はツ♪ はツ♪ 見て、

シコつて、シコつていいんですよ、ねつ、先輩ツ、シコ許可出してるのにツ、

なんでシコらないんですかツ、ほら、ちんぽ出してツちんぽツちんぽ、

ちんぽオツ！ ……、……先輩、どうして先輩はいつも、いつも……私を、

そのように蔑んだ目で。……そんなに私、女性としての魅力がありませんか？

う、う、そん、な、私、わた、それじや私、一体、

何のために生まれてきたのか、先輩に嫌われてしまつたら、私は、私は、

もう、クソの掃き溜めよりも無価値な、例えるならば、そう、

押し入れの中のパンツに生えたキノコです。ははツ、私なんて、

先輩の立派なキノコにぞつこんの、パンツキノコみたいなもんなんですね。ははは、死のう。ああ、先輩、今までありがとうございました――……、

ツひや……！？ せ、せんぱい？ な、え、あ、わ、わ、せ、せせせせせ、

先輩がツ私のツ手を握つて、いるツ……！ 先輩ツ、手ツ、私ツ、私ツ、
「おオツ、お、あツイグツいくツいぐぐぐツオおツ、おおオオオツ♪

う……はーツ……はーツ……。す、みません、私、取り乱しちやつて、あ、
そ、ですね。できれば、手、離して、……らいじよおぶ、です、はい、

はい、もう……死のうだなんて言いませんから。軽率でした。

す、すみませんでしたツ。

ごめんなさいごめんなさいごめんなさいごめんなさいツ。

あえ……？ ゆ、許してくださいんですか、先輩、私を。こんな私を。

ああ先輩、先輩、ああ、あああ、ああ……。

あの、私、明日から変わります、もつとちゃんとした女性になります。

もうなんかすごい変わります。だから、あの、お時間いただきますけど、
待つていてください。びっくりするくらい変わりますから、あの、あの、

しばらく休みますツ……お父様の権限で、欠席扱いにはさせませんけど、
なのでしばらくツ！ ごきげんようツ！

でもーツ！ 先輩を産む夢は諦めてませんからねええツ！
でもーツ！ 先輩を産む夢は諦めてませんからねええツ！

3.私がママです

ハアツ……先輩、先輩、ハアツ……先輩、こんにちは……♪

一か月ぶりですね、ハアツ……相変わらず、かつこいい……ハアツ……♪

え……？ ああ、先輩がこの時間、この個室で用を足すの、調べました。だから、
待ち伏せしました。ああ……驚いた顔もお、すつごく素敵ですね。

……ああ、この格好はですね。先輩、こういうの好きですもんね。

見てください。そうです、制服結んでるだけです。えへ、へへへ、

下あ、見て。もお、ダメなんです、先輩のこと考えるだけで、こんな、
泣いちやうんですよ。とつても泣き虫なんです、私の……、

先輩、先輩、分かつてるんです。この昼休みの直前、先輩は体育の授業。
お、ま、ん、こ……♪ 足首まで涙が漏れ出ちやうくらいに。

やたらと発育の良いクラスメイトの肉体をツ、その目で、目で、目にツ！

焼きつけて、ここ、本校舎の離れのお手洗いで用を足すついでに、

……ツ……思い出しオナニーしてるの。

どうして。って、ずっと思つてた。私があんなにアプローチしててのに、

なぜだか先輩は私でシコろうとしない。頑張つて選んだエツチな下着も、

先輩が興奮すると思つて練習したボーズも、エロダンスもツ、

先輩を欲情させるには至らない。いつたい私に足りないものは何か、

分かりました。

……シチュエーションです。

ここなら、誰も来ません。來たとしても誤魔化し得ます。だから先輩、

私をここで、好き放題に。

犯して。

白くてつやつやのおっぱい死ぬほど堪能して。ピンク色の乳首、

ちゅうちゅう吸つて、噛みついて。乱暴に揉みしだいて。

処女まんこに生ちんぽ突つ込んで、ぐじゅぐじゅ肉便器みたいに扱つて、

好きなタイミングで種付けキメてください。私の膣も子宮も、いいえ、

身体もこころも、それが、いちばん幸せです。

先輩にモノみたいに扱われたいんです。

だつて私は、先輩の……ママだから。

ママはね、ひとのママつていうのはね、子どもに何させてもいいの。

子どもの夢を叶えるのがママなの。男子の理想の女性像なの。

私はそう思つてます。甘やかしすぎるくらいがちょうどいい。

先輩、私、先輩のママになりたかった。でも、今までの私では力不足でした。でもそれは、以前先輩と一緒にいた時のしもべ優なんです。

今の私は、ああ、もう……そうとしか思えないや。ねえ先輩、私、

先輩のママですよね？ 私、産んだ。もう先輩産んだ。だからここにいるんだ。

ああ、こんなに大きくなつたんだね、こんなに健やかに育つたんだね。

でもでも、親として、子どもの成長記録をとるにはもちろん、すっぽんぽんも確認しないと。ちゃんと身体は大人になれるのかな。

ねえ、先輩、確認させてください。先輩の先輩も、ちゃんと育つてますか。ハアツ……ハアツ……ハアツ……♪ きっと、先輩はツ、いいや、確實に、童、貞、ですよね。まだ誰のおまんこにも突つ込んだことのないおまんぽ、なぜだか先輩は私でシコろうとしない。頑張つて選んだエツチな下着も、

先輩が興奮すると思つて練習したボーズも、エロダンスもツ、

先輩を欲情させるには至らない。いつたい私に足りないものは何か、

分かりました。

……シチュエーションです。

ここなら、誰も来ません。來たとしても誤魔化し得ます。だから先輩、

私をここで、好き放題に。

犯して。

毎日先輩をオカズに21回もするのに、それを全部我慢したんですよ。

もお、頭、頭がおかしくなりそうなんです。おかしいのかもしれません。

今日のために私の、一ヶ月オナニーしなかつたんですよ。

私がママなんです

まずは脱ぎ脱ぎしましょーね。

えへ、へへへ、あれ、あれ？ 先輩、おちんぽ萎えてる。なんで。

ああそつかあ、あまりに唐突な展開に身体がついていけないんですね。

大丈夫です、私、先輩のペースに合わせますから。なんせママですから。

先輩ツ……♪ えへ、ぎゅうううつ……えへへへへ……♪

好きツ好きい、先輩好きい、やつと抱きしめられた、ああ、私、

今まで手え繋いだだけで絶頂してたけど、変われました。成長しました。

子どもが成長すれば、親も等しく成長するんです。

でも、ハアツ……ハアツ……ふふ、先輩と触れ合ふと欲情してしまふのは、

やつぱり変われませんでした。これだけは、私の性だと思ってください。

でも先輩？ ねえ先輩？ ……硬くなつてるよ？

そうだよね、半裸のママに抱き着かれたら、反応しちやうよね。

こんなエロい格好で迫られたら、セックスマード入つちやうよね。大丈夫。

ママ、どんな事態にも対応できるからね、先輩は私に身を任せていいんだよ。

先輩の体温、どんどん高まつて。それに、すっかり大人しくなつちやつた。

興奮して、余裕なくなつちやつたの？ かわいいね。

ん、先輩、……ちゅう、したことある？ ……ないんだ。

……ママとする……？ いいよ、たくさんしよ。……んツ……♪

ちゅツ……んむツ……ん、んくツ……ちゅ、ちゅツちゅ……ん。

……しちやつたね。先輩、ちゅう気持ち良い？ ……気持ち良いんだ。

じや、もつとしようね。ほら、いいんだよ。……ん、ちゅつちゅ……♪

ちゅるつ……んむむ、んう、ちゅツ……えお、えお……んく、むつ……♪

んう、んツ……ん、ん……んふツ♪ んツく、ちゅるツン……ちゅう、

ムう……はあむツ……れおツれろ……んツんう……♪

ぶはあ……、ハアツ……ハアツ……♪

ちゅうちゅうしたら、おちんぽ君もつとおつきくなつてきちゃつたね。

ママのお腹に当たつてるよ？ ねえ、先つちよぬるぬるしてない？ ねえ。

ふふ。ママのちゅう、すつごくやらしいもんね。……だつて、先輩のことお、

えつちな気分にさせようとしてるちゅうだもん。

ママのえつちな気持ち、唾液を通して先輩の中に入つちやつたんだね。

いいんだよお、もつともつとえつちな気持ちになつてほしいな。

あのね、先輩がどれだけえつちでも、変態さんでも、

ひとに言えないような性癖を抱えていても、ママはそれを受け入れるよ？

ママ、ぜえんぶ分かってあげちやうから。だから、安心して。

……ふふ♪ ちゅツ♪ んー……？ もお♪ ……ちゅツ♪

んふ、あまえんぼさん……♪ さつきまで身体強張つてたのに、なあんか、

ゆるゆるになつちやつてますね。お顔も、とろとろになつてきてる。

もつととろけていいよ。とろけてほしい。私もとろけちやうから、

とろけてとろけて、ひとつになろ。ね。……うん、ママうれしいよう。

おちんぽ君、そろそろ辛くなつてきたんじやない？

しーこしーこしないと、いたいたいしちやうんじやないのかな。

ママがしーこしーこ、したげようか♪ ねえ、したげるよ？

だつて先輩、ひとりでできるもん！ なんて、強がつちやいそうだし。

ママの前では、見栄を張らなくていいの。どんなに弱味を見せててもいい。

例えは先輩の……♪、こ……♪ は、男の子の弱点だよね。いちばんの弱味♪

ママに任せなさい♪ ほおら、ちゃんと立つて？ ママ、重たい重たいだよ。

壁に背を掛け、……そそう、じょーず♪

じやあママ、しーこしーこするからね。ちよつと待つてね、ママのおてて、

唾液でぬるぬるにしちやうから。……エ、エオ……♪

……んふふ、見て、ぬるつぬる……♪ 今からこれで、しーこしーこするよ♪

上手なオナニー、覚えようね。ママのおててでオナニーしようね。

……んつ。わあ、すごい。先輩のおちんぽ君、あつうい……。ギンツギン……。

(手コキスタート・ゆつくり)

いひ♪ しーこ、しーこ、しーこ、しーこ、最初はゆつくりゆつくりい、

しーこ、しーこ、しーこ、しーこ、うふふ、やらしい音しちやつてるね？

とつても恥ずかしい音お、お手洗いに響いちゃつてるね？

しーこ、しーこ、しーこ、しーこ、しーこ、しーこ、しーこ、しーこ、

ほら、この音はね、ママが先輩のおちんぽ君シゴいてる音だよ。

しーこ、しーこ、しーこ、しーこ、しーこ、しーこ、しーこ、しーこ♪

先輩、エツチな格好してるママにおちんぽ君しこしこされちやつてるんだよ。

とつても興奮しちやうね。こんなエツチなことできるなんて夢みたいだね。

ほおら、しーこ、しーこ、しーこ、しーこ……♪ 一緒に声出そう？

ほら、さんはい、しーこ、しーこ、しーこ♪ そーそお♪

じょーずじょーず♪ さんはい、しーこ、しーこ、しーこ、しーこ♪

あはは、とつても上手だね、ママ嬉しくなつちやうよ。

んう？ ねえー、おちんぽ君、ママの唾液とはちがうぬるぬるしたのが、

先つちよからたくさんびゅつびゅしちやつてるんですけどお。

さつきギュツギュしたときよりも、いいっぱい出ちやつてる。

おちんぽきもちいきもちいしちやつたんだ？ ママのおててでオナニー、

えつちすぎときもちいきもちいしちやつたんだ？

先輩つて、とつてもやらしいんだね♪

ママはね、やらしいほうが好きい♪ もつとやらしくなつていいよ♪

ほら、ほら、オナニー、ちょっと速くしちやうからね。

しーこしーこ、しーこしーこ、しーこしーこ、しーこしーこ♪
あれれ？ ちょっと先輩？ おちんぽ君が勃起しちゃうのは分かるけど、
どーしてここまでカチカチになつてゐるのかな。ねえ、先輩つて、
女の子なの？ 女の子のおっぱいみたいな乳首、カチカチになつちやつてる。
乳首い、どうしちやつたのかなあ。さわつてえ、さわつてえ♪ つて、
泣いちゃつてるね。泣いてる子には、いーこいーこしなきやだ。そおれ、
いーこ、いーこ、いーこ、よしよし、よしよし、よしよし、よしよし。
ねえー、泣いてる子をなでなでよしよししてるのでい、
あんあん喘ぐなんて、それにおちんぽ君もびくびく動いて、不謹慎だよー？
あ、不謹慎つていうのはねー、わるいこと、だよ。
わるいわるいこと。だからだめだよ。喘いじやだあめえ。
おちんぽ君びくさせちやあ、だあめえー。
乳首ちゃん、こわいこわいしちやつたね。よーしよし、なーでなで……、
……ねえ先輩？ ママのお話、ちゃんと聞いてましたかあ？
おちんぽ君も、天井向きつ放しだよ？
ママの言うこと聞けないの？ 先輩は悪い子なのかな？ ねえー？
もおー。そんな子には、お説教しなきやいけないよ？
お説教つていうのは、ママふんふんしちやうけど、
先輩をいい方向に連れてイつちやうことなの。いい子になれるんだよ。
お説教は、お口でするんだ。
まずは、おちんぽ君のほうをお説教しなきやね。
……こら、おちんぽ君つ。だめじやない、乳首ちゃんが泣いちゃつてるのに、
そんなんえつちいお汁いつぱい出しちゃあ……だ、め……♪
はああむツ♪
んツんぶツんじゅるツンンンツんツんうンツンツう♪ うぶツ♪
んくツううツ、ふツ、ふツ……！ んえおツおツ、うぶツ、んじゅツる♪
ン、はああツ……はあツ、はあツ、おちんぽ君ツ、ぜんツぜんまだツ、

反省、してないねツ、してないツしてないよこれはツ、はあムツ……、
んぐぐツむツ♪ えおツえおおツ♪ シううむツ、えおツくちゅツ♪
はむツむツうツおツ♪ んんぐツ♪ んむツむツ、えうツうツ♪ おツ♪
んぐツんぐツ、ふツ、ふツ、んじゅるるツ、ンツじゅううううツ♪
ぢゅううううツ♪ んむウウおツ♪ はあツむツ、えおツおツおツ♪
んうぐツ♪ んツむツおおツ♪ おぼツお、んうツウ、おツンツう♪
ふはツあ、はあーツ、はあーツ、先輩ツ、先輩のちんぽツちんぽツ、
ちんぽ咥えたツ咥えたですツ、幸せツ幸せツあ、幸せツ……♪
はツ……、う、ううん？ なんでもないよお？

あんあん喘ぐなんて、それにおちんぽ君もびくびく動いて、不謹慎だよ～？
あ、不謹慎っていうのはね～、わるいこと、だよ。
わるいわるいこと。だからダメだよ。喘いじやだあめえ。
おちんぽ君びくびくさせちやあ、だあめえ。
乳首ちゃん、こわいこわいしちやつたね。よーしよし、なーでなで……、
……ねえ先輩？ ママのお話、ちゃんと聞いてましたかあ？
乳首ちゃんよしよししてるので、なーんでまだえつちな声出してるの。

ママの言うこと聞けないの？ 先輩は悪い子なのかな？ ねえー？
もおー。そんな子には、お説教しなきゃいけないよ？
お説教っていうのは、ママぶんぶんしちゃうけど、
先輩をいい方向に連れてイッちやうことなの。いい子になれるんだ

まずは、おちんぽ君のほうをお説教しなきやね。
……こら、おちんぽ君つ。ダメじゃない、乳首ちゃんが泣いちやつてるのに、
そんなんえつちいお汁いっぱい出しちやあ……だ、め……♪
はああむツ♪

んツんぶツんじゅるツンンンツんツんうンツンツう♪♪ うぶツ♪
んくツううツ、ふツ、ふツ……！ んえおツおツ、うぶツ、んじゅツる♪
ン、はあツ……はあツ、はあツ、おちんぽ君ツ、ぜんツぜんまだツ、

白いおしつこ見せてツ♪♪ ねばねばの白いおしつこ♪♪ 見せてツイつて！
あああッ！ ああツあ、あー出てるツ、出た、いっぱい出てる、
白いの出せたね、ママの言う通りにできたね、ママ、ちゃんと見てるよ。
先輩が白いおしつこぴゅつぴゅしてるところ、しつかり見てるから。
ほら、見てる。見てるよ。

だからもつと、もつと出して、いっぱいぴゅつぴゅしてえツ♪
ああ先輩、ああ先輩、ああ先輩いツ……♪ イつちやつたんだ……♪

ママのおでででオナニーして、イッちやつたんだあ……♪
うああすつごい匂い、こんなやらしい匂いのおしつこ、便器じやなくて、
そこら中にまき散らしちやつて、もお♪♪ 先輩、えつちだぞ～?
ああ、ママのおでてにも……たくさんついちやつたあ……。
んつ……じゅるツ、ちゅ……、もぐもぐ……、ごつくんツ……、う、あ……♪
先輩の、白い、おしつこ……ママの身体の中、入つてきた……あ……♪
おいしい……ママにおやつをくれるなんて、先輩はやさしいなあ♪
でもでもお、おいしいおいしいお夕飯が待つてるから、あんまり食べちゃダメ、
だよね。我慢するね。……分かるかな……先輩……♪ うふふ♪

5.ああ先輩・私がママです・ああ先輩

……ねえ、まさかこれで終わりなわけないよね……?
ママね、欲しいの。もう一度、この白いおしつこが出るところを見たいの。
目に見えないところで、見たいんだ。ママの……中で……♪
ンツ……先輩、見える?

ここ、ここがママの、赤ちゃんのお部屋への入り口で、……出口もあるの。
そう、隣だよ。

先輩はね、ここから産まれたの。覚えてないよね、仕方ないよ。
ちよつと覗いてみる……? そしたら何か思い出すかも♪
……あ♪ あんつ♪ もお、目があいやらしいよう。近いよおつ。
そんな、うあ、視線で犯されてるみたい……♪ はあツあ♪
熱い……息が当たつてるからあツ……♪ うう、焦らさないでえ。

覗くならさ、ほら、おちんぽ君……おちんぽ君に探検させてみたらどうかな♪
ママの隣の中あ、探検ごっこしよ♪ 奥の奥まで、覗いてみていいから……♪
ほら、入りやすいように、両手で開けてあげるツ……、ううあ……♪
どお、かな。ちよつと狭いかもだけど、入つてこれそ……?
う、くあツああツ……あ、……いあ、だ、だいじよぶだよ、うん、
男の子の好奇心、は……抑えられないもんねつ。洞窟探検、楽しいもん、ね。

うああツ、あツ……はイツ、入つて、き……て、る……。
ど、お? 暗くて、よく分からいかにやつ……あ、んうツん……♪
か、壁も地面も、天井も、ぬるぬる、ねばねばかな……? いひひ、
ごめんね、わ、わたし、ママ、ぬるぬるがとつても多くて、あはは♪
う、うツ、ううツあ、奥、キてる、うん、奥までキた、キたよ、届いてる、
あ、あ、ぎもちいツ……あ、じやなくて、ああ、もつと、探索しよツ。
自、由に……動き回つていいですよおー♪ フリーータイムでえす……♪
ああツ、あツあツ♪ “ああく～ツ、”ああく～ツ♪
ごれツえ、すぐツあ、あああツはツ、はツ、はツ……、うあツあ、
えツあ、ら、らいじよぶ、らいじよぶ、ですツ、好きにツシてくださツ、あ、
“うオツお、“おおツ、“あツ、イギツあ、はーツ、はーツ、ふーツ、
ふーツ、ふーツ、ふーツ、……せんば、い、ちゅう、ちゅうして、いや、
ちゅうします。おちんぽくんのお説教はしたけど、先輩のお説教はまだ、
だから。……んツじゅツじゅううツちゅるツじゅツ♪ んじゅるるツ♪
えおツえおツえおツ♪ れろおツれろツんむあ♪ ンああア♪ んツく♪
んツくツあ♪ ぷはツ、しゅきい先輩しゅきいツしゅきいツだいしゅきツ♪
もつとしてえツ、んうーれおツんう♪ んうツうツうう♪ んううウツ♪
んぶツちゅツちゅツ♪ えおツおツ♪ んじゅるツちゅツ♪ ちゅツ♪
はうツ、ちゅツ、ちゅうう、れろおオ……♪ ぷはあツ……♪
あああツあツあツ♪ セン、ぱツ、い、たのしい? ママの中ツあ、
探検ツするの、たのしいい? うんツ♪ ママもツお、とおおつても、
たのしいい♪ もつとしてツもつとしてほしのツ、ママの中ツ、
動き回つてほしのツ♪ そしたらもつと楽しくなるのおツ♪
はあーツ、はあーツ♪ お年頃なんだからあツ、やんちゃしていいよお♪
ああンツ♪ あツあ♪ ああんツ♪ ひツひあツあツ♪
えへつ、いーっぱい走り回つてえツ♪ 落書きとかしてえツ♪
中あ、よだれとかまき散らしていいからあツ♪ ママはね、お歌をうたうよつ♪
とーーつてもお、えつちなお歌つ♪ がんばつてうたうね♪
へたつぴだからあツ♪ うるさかつたらごめんつねええツ♪ あああンツ♪

あツあ♪ ああツあ♪ ひツあ♪ あツ♪ んああツ♪ はあンツ♪ あツ♪
「おツ♪ あツ♪ いひツい♪ ふウああツ♪ あはツあ♪ ああツ♪
ああンツんう♪ おおオンツ♪ ああつはう♪ ……どお、かなあ?
ヒあああツ♪ おアオ♪ いひツあはツ♪ んうあ♪ いあン♪ ああツ♪
ママのお歌、ンああツ♪ ドおかなかツ♪
……ふえ、あンツ♪ あはツ♪ あ、ありがとおツ、うれしいよお♪
おちんぽ君ツがあ、いアツ♪ たくさん楽しそうに探検してくれる、からツ、
ああツ♪ あツ♪ こんなに上手に歌てるんだよお♪
えへえツ♪ おちんぽ君のおかげえ♪ いひツ♪ あツ♪ う♪ うあ♪
うツ……! ? ぐううあ……ツ。
はあツ、はあツ、はあツ、はあツ……、ら、だ、大丈夫、だから、うん、
少しだけ脚が、ガクガクして、う、う……、ひやツ……!
せ、先輩……? どおしたの、急に抱き着いて、さみしくなつちゃつた……?
うえ、え……? うああ、あ、ありがとござります……私、立てますから。
あ違ツ、……ふふツ♪ ありがとねえ♪
ふうあ……、あ……せんば、なんか、ママね、すごいの、
こうしてつながつてただけで、すごいの、キちやいそうなの、やばい、やばい、
あ、あ、あ、あ、ま、待つて、落ち着くから、落ち着く。ふうー……はあー……。
ふうー……はあー……
ふぐあアツ! ? おツ、おツ♪ ちよツまツあツ、あああツあツ、あ♪
こツ……らツああツあ♪ ママツまだいって、言つてツ言つてなあアツ♪
「あああああああツツ♪ はあああああツ♪ あああああもおだめえツ
ぎもぢいいツぎもぢいいツ先輩とのセツクスぎもぢいいよおおおおツ
ずつと、ずつとずつとずつとしたかつたセツクスしたかつたあああツ、
ぎもぢいのつ最高なのツ、あア壊れるツおまんこ壊れるツ♪
幸せすぎて壊れちゃいましゅうううツ♪ あああもつど突いてツ♪
おがじぐなつぢやうツ♪ おがじぐじでぐだざいツ♪ 私のごどツ
おまんごごどぶつ壊じでツ、先輩にツごわされたいのおおおツ♪
アアツアあツ♪ おぼツ♪ おぼツお、おぼおツ♪

「あひツいツいツ、いイイツ♪ もお死ぬツ死ぬツ死ぬ死ぬツ♪
イグツざつきのやばいのツ、まだギちやうツ♪ ギちやうのツ♪
それギたら死んじやうのオツ♪ あアツ♪ あアアツ♪
「あああツ、グるツ、グるうツ、グるツうヴえ先輩ツ先輩もツイ、つて、
同時にツ一緒にツすごいのツシよツ、おツ♪ あグるツもツだめツえツあ、
イギツ、あツ、つぐあツ、おツ♪ つお、おイグツ♪ イグアツ♪
「ああツ、あああツ、ああああああああああああツツツ♪
「あーツ、ああーツ、ででるツなかでてるツ、どおくつ? だつげ、ででる、
どおくつにせーえき、あふれ、でた、あ、あ、あお、う、あ、ああ、あ、
おわらなイ、おわらなイよごれえ、ずつど、すごいの、イキつづけて、る、
あづい、しぬ、しんでる、もうしんでるこれ、ああ、あ、あ……。
せんば、い、せんばつせんばあ……んむうツ♪ んごおツぐツ♪
ムおツお……おツ♪ んぶツちゅツちゅるツ……♪ んぐツく、う♪
んうぶツ♪ ちゅるツちゅ……♪ んむ好きいツ……好きい、好きい、
はあむツ……ぐツんツんうツ……♪ んむツうツ……♪
んつむうツうツうツ……♪
6.ああああああああ私ママなんですあああああああああ
はー……はー……はー……。はー……はー……、……うふ。ふふふ♪
ふうう♪ せえんばあい。ママ、とつても楽しかつたよう。
先輩もおく、たのしかつたよ……ネ……? ……え?
せん……ぱい? どうしてそんな、悲しい顔してたの。
え? え、いやあの、ママは幸せだよ? 先輩のママとして、先輩を……。
へつ、……う、うそじやない。うそじやないですよ。私、散々言つたよね、
先輩のママだ、つて、なのに、まだ信じてないの、どうして。
……う、あ。ああ、あはは……よく、気づきましたね。
そつか、そうだつたんだ、……えつちの最中、私そんなこと言つてた……?
……あーあーあ……。やつちやつたあ……。あははは……。

なんだろ、経験したことないレベルの賢者モードかな、これ……。

何もかも……打ち明けたくなってきた……。

先輩。すみません、少し聞いてくださいますか。

私、……ご存知の通り、変なファンクラブあるし、クソ親父——

父親は理事長で、わがまま言いたい放題なのに、

ガチガチに縛られた窮屈な人生送っています。

私、……どう見たって可愛くない。身体も平凡以下、取り柄なんて何もない。

所詮は権力に守られただけの成金、いわゆる高等御乞食ってやつですね。

先輩、私ね、……すツツツごいド変態なんですよ。性癖が捻じ曲がつて、

赤ちゃんプレイ、みたいなのをネットで知つて、憧れました。

性欲もですね、もう、狂つてるんじやないかつてくらい強くて、

誰にも打ち明けられない、ドロドロの泥みたいな願望を抱えてたんです。

実はさつきから……。ねえ、気づいてなかつたでしょ？

私、この個室で先輩と対面してから、もう、200回くらい絶頂してたんですよ。

最後の最後……先輩と一緒にイつた時は、かつてないくらい……すごかつた。

でもね本当に、先輩とお話しして、触れ合つて、それだけでイつちやうんです。

嬉しすぎて、恋しすぎて、愛しすぎて、もう、身体が悦んじやうの。

その体質を不幸とは思いません。むしろ幸せです。

とても気持ち良い絶頂なんです。

今日は、それを悟られまいと修行した一か月の成果が出ましたね、ははは。

……しもべ優が、こんなド変態なクソ痴女であることがバレたら、

きっと親に勘当食らつて、家を追い出されてしまします。

だからはずつと隠してたんです。

かと言つて、本当の私を知つてるのは私だけ。なんて悲しい、虚しい人生だろ、

かりそめに生きて、何が楽しいのかも分からなかつたんです。

でも先輩、あなたは……私を、お嬢様という目で見なかつた。

自覚ないでしょ。私が権力者の娘と承知で、ただの後輩として接してたんです。

驚くでしようが、初めてだつたんですよ、そんなこと。

誰も彼も、ごますりご機嫌どり、ですわますわのお上品な顔ばかり。

そんな中、唯一先輩は……粗暴でした。とつても心地の良い粗暴でした。さらに驚くでしようが、私、それでコロつと墮ちたんです。あなたにね。

ああ、このひとには、全てをさらけ出していいのかもしれない、なんて考えて、

ひととの距離感が分からぬ私には、歯止めなんてものはありませんでした。

あれが、本来の私です。ああやつて、頭のおかしいことしてる時が、

いちばん生き生きするんです。たまにこんな賢者モードきますけど。

すつごい、気持ち良かつたですよ。先輩には不快な思いさせてたかもですね。

結局このお話は、ひとと関わるのが下手で、ド変態な欲望を隠しきれない女の、

ドーーーしようもない……やらかし先生だつたつーわけですよ。はははは。

はあ……消えたい……本当に……。ただひとりの大好きなひとに……

大好きなひとに……私、とんでもないことしちやつたなあ……。

えつちしたくて仕方なかつたのに、いざ実際にしたら、後悔しかないや。

先輩、ごめんなさい。

明日からはもう、先輩にも、しもべ優というお嬢様で接しますから。

もう、私のうざつたい本音に付き合わせませんから。

だから先輩も今まで通り、その分け隔てない人柄で平和に生きてください。

……じきげんよう……、さようなら、先輩。

…………ふえ？ 先輩、今、なんて。

ま、ま、また、え、また、してくださるんですか、あんなことを……？

お、お、怒つてないんですか、だつて、あんなことして、私、……。

ツ！ え、え、今、ま、ままま、ママつて、言いました……？

私を？ ママと？ 呼んでくださるのですか？

あツあ、ああ、あ……せんば、先輩、ああああツ……。

ハアアアアアアアア先輩先輩先輩せんばせんばいぱいツそうですですです

ああああああああ私がママなんですかあああああああああせんばああああああああ

あああああああツツツ———、……ありがとう、大好き……。

(終)